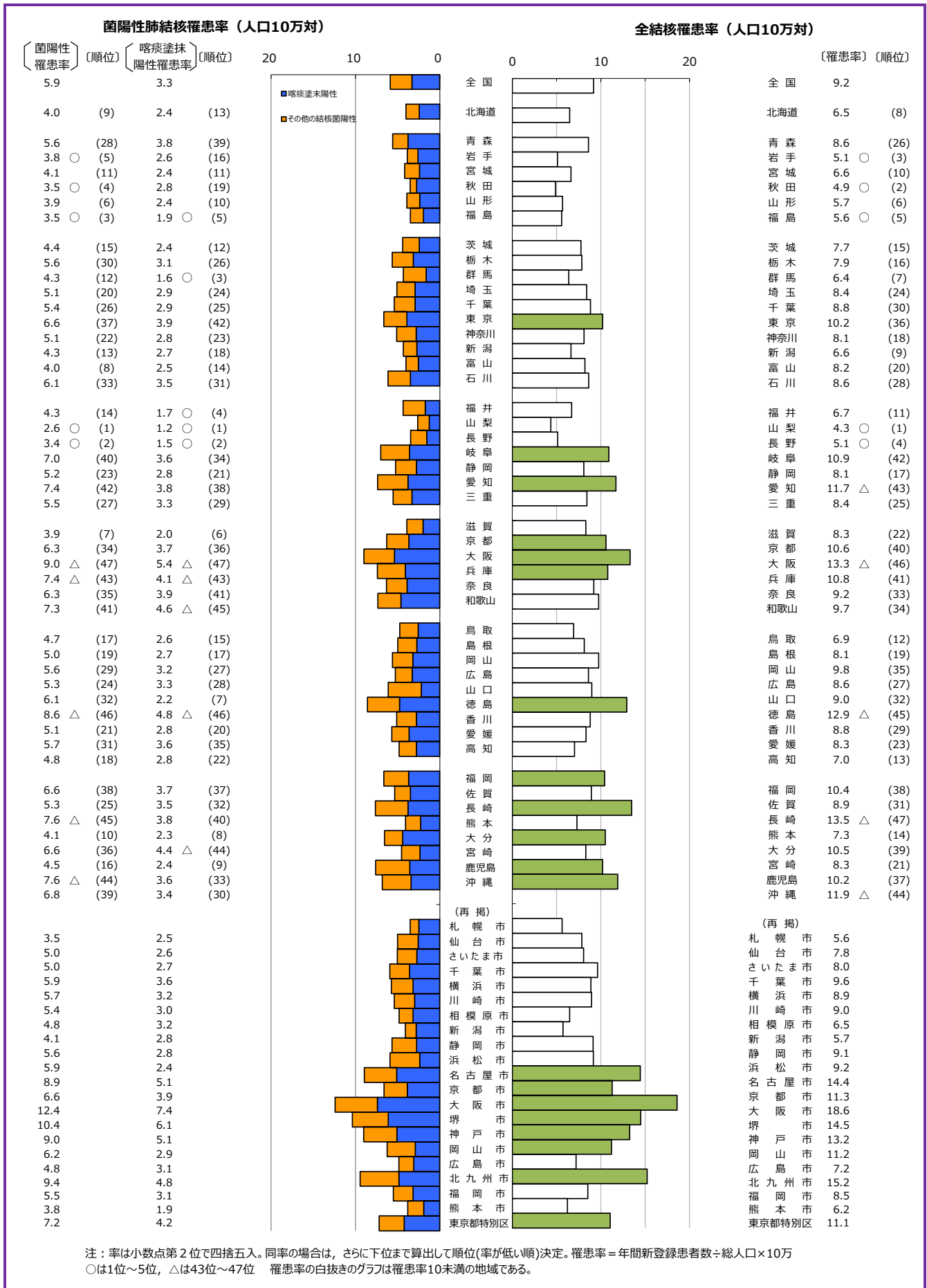


都道府県別にみた全結核罹患率（2021年）



2021年の都道府県別全結核罹患率は、長崎県（13.5）が最高で、次いで大阪府（13.3）、徳島県（12.9）、沖縄県（11.9）、愛知県（11.7）の順となっています。一方、最低は山梨県（4.3）、秋田県（4.9）、次いで岩手県（5.1）、長野県（5.1）、福島県（5.6）の順で10を下回った都道府県数は、35となっています。また、政令指定都市の中では、高い方で大阪市（18.6）、北九州市（15.2）、堺市（14.5）、低い方で札幌市（5.6）、新潟市（5.7）、熊本市（6.2）の順となっており、かなりの格差があります。